

第五十一回帝國議會
衆議院

郵便年金法案

(政府提出) 外一件 (郵便年金法案(政府提出)
郵便年金特別會計法案(政府提出))

委員會會議錄(速) 第五回

會議

大正十五年三月八日(月曜日)午後二時
五十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 作間 耕逸君

理事 戶田 由美君

理事 濱田 精藏君

理事 上原 好雄君

戶井 嘉作君 中原徳太郎君

深井 功君 石塚 三郎君

若宮 貞夫君 青木 精一君

古川 清君 今井 健彦君

平田民之助君 佐藤 重遠君

山口 左一君

同月八日委員平田光雄君辭任ニ付其ノ
補闕トシテ同日戶井嘉作君ヲ議長ニ於
テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

逓信大臣 安達 謙藏君

出席政府委員左ノ如シ

大藏書記官 川越 丈雄君

司法政務次官 本田 恒之君

逓信政務次官 賴母木桂吉君

逓信參與官 川崎 克君

逓信省經理局長 書所 文二君

簡易保險局長 今井田清徳君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

郵便年金法案(政府提出)

郵便年金特別會計法案(政府提出)

○作間委員長 ソレデハ是ヨリ開會致

シマス、一寸申上ゲテ置キマスルガ、相

成ベクハ質問ハ今日ヲ以テ御終了ナサ

ルヤウニ、一ツ御勉強ヲ特ニ御願致シ

マス、但シ時間ハ少々遅クナリマシテモ

差支アリマセヌ、左様豫メ御承知ヲ願

テ置キマス

○濱田委員 是ハ矢張特別會計ト云フ

コトデアリマスガ、最初ニ私ガ質問シマ

シテ、其續キテ此若宮君カラ可ナリ細

カク質問サレマシタガ、色々御説明ヲ

聽イテ見マシタケレドモ、要スルニ私

共ノ考ハ特別會計ヲ殖サナイト云フ意

味ニ於テ簡易保險ト一絡ニ——今年度

ハ仕方ガナイトスレバ、來年度カラデ

モ深く其邊ヲ考慮シテ戴キタイト思フ

ノデアリマス、吾々ガ搔擗ンデ——吾

吾ノ頭ノ中ニ入ッタ御説明ハ、年金ト簡

易保險ノ基礎ガ違フト云フコトト、ソ

レカラ其事業ノ成績ノ上ニ於テ簡易保

險ガ折角發達シテ居ル所ニ、年金ハ若

シ豫想ガ外レテ旨ク往カナカッタ時ニ、

早ク言ハバ收支ガ豫算通り行カナイ時

ニ、會計ヲ一絡ニシタナラバ簡易保險ニ

影響ヲ及ボスト云フコトカラ分ケナケ

レバナラスト云フ御考ノヤウデアリマ

スガ、勿論事務ハ簡易保險ノ方ト御一

緒ニ御執リニナルノデアリマセウシ、

旁々民間ノ保險會社デモ生命保險モヤ

ル、少額ノ養老 保險モヤルトカ、或ハ

生命保險會社デ教育結婚資金ト云フ意

味ノ保險モ同時ニ兼營シテ居ッテ積立

金ハ明ニ分ケルコトガ出來ル、又分ケ

ナケレバナラスト云フ命令ニモナッテ

居ッテ、ソレヲ實行シテ居リマスカラ、

ソレヲ最後ニ承ッテ私ハソレ以上ハ質

問ハ致シマセヌノデアリマス

○安達國務大臣 度々繰返シテ申ス通

リ、簡易保險ト年金保險ト其性質ガ違ッ

テ居ルノデアリマス取扱ニ於テモ根本

カラ異ッテ居ルノデアリマスカラ、何ト

云ッテモ特別會計ニシタ方ガ宜イト云

フコトノ結論ヲ得タノデアリマス、ケ

レドモ此所デハ年金保險ダケデアルケ

レドモ、將來ハ又他ノ新シイ保險モ加

ハルカモ知レナイ、サウ云フトキニ商

量スルト云フコトデ、アレハ折合ハウ

ト云フ御説デスカ

○濱田委員 折合ハウモ何モアリマセ

ヌ、結局賛成デアリマス

○安達國務大臣 考慮セヨト云フコト

デアレバ考慮シテ置キマスガ、併シ此

所マデ案ヲ練ルニ付テハ、相當確信ガ

アッテ出シタ案デアリマスカラ、ソコハ

御了承ヲ願ヒマス

○濱田委員 吾々ハ先キニモ申ス通

リ、案其物ニハ賛成デスカ、特別會計デ

ナカッタナラバ非常ニ宜カッタウト思

フノデス

○安達國務大臣 御尤デス、特別會計

ノ殖エルノハ宜シクナイト云フ總論ハ

知ッテ居リマス、矢張其方カラモ考ヘマ

シタガ、併シ此年金事業ノ將來ニ對シ

テ特別會計ヲ増加スルコトハ宜シクナ

イケレドモ、唯此問題ニ限ッテ特別會計

ニシタ方ガ宜カラウト云フ結論ヲ生ジ

タ爲ニ、此問題ニ取ッテハ特別會計ニセ

ザルヲ得ヌコトニナッタノデアリマス

○青木委員 本案ヲ見ルト單ニ加入者

ノ掛金ヲ以テ年金ヲ支拂フコトニナッ

テ居リマス、サウシテ政府カラ少シモ

保護ヲ與ヘナイト云フ案デアリマス

ガ、五朱利率ト云フコトニナルト、資産

階級カラ見レバ此制度ヲ利用スル必要

ハ殆ドナイ、逓信大臣ノ説明セラレタ

ヤウニ、中産階級以下ニ對スル社會政

策的の制度デアルト見テモ、中産階級ト

云フ程度ノ者ハ此制度ニ依テ利益ヲ受

クル所ガ比較的多カラウト思ヒマス

ガ、下層階級ハ掛金等ノ關係カラ此制

度ヲ利用スル向ガ甚ダ尠クハナイカ、

或ハ利用スル力ガナイデハナイカト云

フ疑問ヲ掃フ譯ニ行カナイノデス、政

府ノ答辯ニ見マシテモ、簡易保險トハ加

入者ノ範圍ノ違フコトハ明カデアリマ

ス、下層階級ト云フヨリモ月給生活者

トカ、或ハ其他ノ中産階級ノ爲ニ此制

度が多クノ便利ヲ與ヘルノデナイカト
思ハレマスガ、私共ノ考ヘルニハ、斯ウ
云フ社會政策的ノ事業ハ、政府ガ或ル
程度迄ハ保護ヲ與ヘテモ、成ベク多數
ノ民衆ガ之ニ依テ利益ヲ受クルヤウニ
シタ方ガ、斯云フ法律ノ本當ノ使命デ
ナイカト思ヒマスガ、是等ノ點ニ付テ
政府ハドウ云フ御見込デアリマスカ、
先達カラ加入者ノ範圍ハ自カラ簡易保
險トハ異ナルト云フコトハ明言セラレ
テ居ルガ、併シ又大臣ノ提案ノ説明カ
ラ見ルト、多數民衆ノ爲メト云フノデ、
不層階級マデモ非常ナ利益ヲ與ヘルヤ
ウニ説明サレテ居リマスガ、私共ノ見
ル所デハ、ドウモ掛金等ノ負擔ノ工合
カラ言ッテ、下層階級ニ於テハ負擔ニ耐
ヘラレナイノデハナイカト云フ疑ヲ持
ツノデアリマス、此點ニ付テ御説明ヲ
願ヒタイ

○安達國務大臣 御尤デスガ、社會事
業ナルモノハ、單ニ簡易保險トカ年金
問題バカリデ解決スベキモノデハナ
ク、有ユル方面カラ解決スベキモノデ、
一方ハ國家ガ補助スル、一方ハ強制シ
テモヤルト云フヤウナ勞働保險、健康
保險トカ云フヤウナモノモアル、是ハ
今後モサウ云フ風ノモノガ出來マセウ
ガ、貴方ノ御話ノヤウナ色ミナ事ハ別
ニヤラナケレバナラス、年金ノ事バカリ
ヲ以テ、中産階級ニモ、下層階級ニモ、
總テノ階級ニ満足セシメヨト云フコト
ハ少シク困難ナコトデアアル、國家ノ力

ヲ以テヤルノニハ、色ミノ事デシナケ
レバナラス、ソレカラ社會事業ト云フ
モノハ、國家ノ組織カラ云フト、申スマ
デモナク中産階級ヲシテ健全ナル基礎
ノ上ニ其生活ヲ安全ナラシムルト云フ
コトガ必要デアアル、又近來ヤカマシク
言ハレル小農保護——小農ト云フノハ
下層勞働者ヨリハ少シ上ノ者デアアル、
其小農ノ保護ト云ヒ、或ハ自作農ノ維
持創設ト云ヒ、皆是レ下層社會ノミナラ
ズ、下層社會ヨリハ比較的上層ノ者モ
アル、即チ中産階級以下ニ健全ナル基
礎ガ立ッテナラバ、思想ノ惡化ナドモ大
ニ防グコトニナル、ソレデ郵便年金ナ
ルモノハ郵便年金バカリデ、サウ云フ
總テヲ包含スルコトハ出來ナイケレド
モ、其中デヨリ廣キ方面ヲ郵便年金デ
目的ヲ達セラレルコトニナル、ソレカ
ラ金持ハ無論引合ハナイ、ソレハサウ
ダラウト思フ、ケレドモ私ノ前ニモ言ッ
タ通りニ、不時ニ一時ニ金ガ懷ロニ入ッ
タ、持ッテ居ルト消費シ易イ、色ミノ境遇
カラサウナル、ソコデ一遍郵便年金ニ
抛リ込ンデ置クト大丈夫ダカラト云フ
ノデ、算盤ノ上デハ利廻ガ安イケレド
モ、益暮ノ「ポ」ナス「ト」カ云フヤウナ
モノガ入ッタ時ニハ其金ヲ之ニ向ケル、
ソレハ最低額ガ十二圓デスカラ、下層
社會ニ於テモ、勤儉貯蓄ノ精神ガ發達
シタナラバ、十二圓デ暮ニ一枚買ッテ置
ク、翌年ノ益ニモ一枚買フト云フヤ
ウナコトデ、下層社會ト雖モ之ニ掛ケ

ルヤウニナルデアラウト思フ、幸ニ此
法案ガ通過シタナラバ、全國ニ向ッテ大
ニ宣傳シテ、獎勵シテ見タイト云フ希
望ヲ持ッテ居リマス

○青木委員 只今ノ大臣ノ御答辯ハ私
ノ次ニ伺ハントスルコトノ問題ニ入ッ
テ來タノデスガ、簡易保險ハ簡易保險
局デヤツテ居ル、而シテ又茲ニ特別會計
別ニ年金法ヲヤル、勿論遞信省ニハ
全國ニ八千有餘ノ代理店ノ働ヲ爲ス所
ノ郵便局ガアルノデ、之ヲ活動セシメ
テ斯ウ云フ事業ヲヤルト云フコトハ、
誠ニ便宜ナ方法デ結構デアアルガ、然ル
ニ内務省デハ社會局デ健康保險ヲ實施
スルト云フコトニナツテ居ル、其内容ヲ
能ク檢討シテ見ルト、簡易保險ト云ヒ、
年金法ト云ヒ、社會局ノ健康保險法ト
云ヒ、其執ッテ居ル方法ハ多少違フケレ
ドモ、等シク社會保險タルコトニハ一
致スルノデアアル、ソコデ私ノ問ハント
スル所ハ此行政組織ヲ統一シテ、斯ウ
云フ風ノ社會保險ト云フヤウナモノ
ハ、敢テ遞信省トハ言ハナイガ、政府部
内ニ一ノ省ナリ局ナリヲ設ケ、一ノ組
織ノ下ニ集メテ、各其特質ノ現ハレタ
方面ニ向ッテ統一のニヤツテ行ク、斯ウ
云フコトガ今日ノ時代ノ要求ニナツテ
來テ居リハセシカト思フ、内務省デハ
健康保險ヲヤル、今後失業保險モヤル、
疾病保險モヤルト云フ風ノ時機モ來ル
ダラウ、是ハ何レモ同ジ政府デヤツテ居
ルノデアアルカラ差支ハナイノデスケレ

ドモ社會保險トシテ一ノ統制ノ下ニ、
組織ノ下ニ纏メテヤツタナラバ、資金運
用ノ上ニ於テモ自ラ相當ノ效力ヲ發揮
スルコトガ出來、又國家的ノ保護ヲ與
ヘテ、之ヲ一層有效ニ發達セシメテ行
クコトガ出來ルト思ヒマス、此點ニ付
テ現内閣ハドウ云フ御方針ヲ持ッテ居
ラレルカ、各省割據ノ弊ニ因ハレテ居
ル今日マデノ所デハ困難ナ事デ、自分
ノ立場ニ立ッテ仕事ヲシヤウ、成ベク自
分ノ省ノ仕事ハ他ヘヤラヌヤウニシタ
イト云フヤウナ傳統的ノ役所ノ風デア
ルカラ、之ヲ打破シテ統一スルト云フ
コトハ、困難デハアツテモ、大政黨ノ背
景ヲ有シ、而モ安達遞信大臣ノ如キハ
民間ニ在ル政治家トシテ苦勞ヲセラレ
タ方デアアルシ、斯ウ云フ行政組織ノ改
革トカ整理トカ云フコトハ、現内閣ノ
一ノ旗印デアアル、況ヤ今日ノ時代ハ斯
ウ云フ社會保險ト云フヤウナコトニ付
テハ大ニ要求シテ居ル時デアアルカラ、
斯ウ云フ事業ハ政府部内ニ於テ統一ヲ
シテ、社會保險ノ爲ニ一ノ新シキ土臺
ヲ組立テテ戴クコトニナレバ、現内閣
ノ功績ハ永久ニ傳ハルデアラウシ、ソ
レデコソ初メテ十年苦節ヲ經タル憲政
會内閣ノ偉大ナル御土産デアラウト思
フ、私ハ決シテ惡口ヤ冷カシデ言フノ
デハアリマセヌ、此點ニ付テ既ニ案ガ
斯ウ云フ風ニ出テ居ルノデアリマスカ
ラ、政府ハマダサウ云フ風ニマデ進マ
ナイト云フ御答辯ハ得ルデセウガ、ソ

ルノデアアルカラ差支ハナイノデスケレ

レダケデハ私共ハ満足出來ナイ、將來
現内閣ハ斯ウ云フ事ヲ統一スル所ノ抱
負有リヤ無シヤ、私共ハヤッテ頂キタイ
ノデス、何レノ内閣デモ斯ウ云フ事ハ
斷ノ一字ヲ以テシテ、屬僚等ノ色々
註文等ヲ聽カズシテ、時代ノ要求トシ
テ行政事務ノ統一ト云フコトハヤッテ
頂キタイ、殊ニ私共ハ社會保險ト云フ
事ニ付テハ徹底的ノ組織ノ下ニ、堂々
トヤッテ頂キタイト思ヒマスカラ、將來
ニ對スル抱負ヲ伺ヒタイノデス

○安達國務大臣 只今ノ御質問ハ、郵
便年金問題ヨリモヨリ大キイ行政組織
ノ根本ニ觸レタ話デ、謹聽致シマシタ、
貴方ノ御意見ハ能ク分ッテ居リマスガ、
其處ハ御説ノ通り餘程ムツカシイ所デ
アル、私共ノ如キモ遞信大臣ナドノ資
格ヲ忘レテシマッテ、野黨氣分ニナッテ
御話ヲ伺ッタガ、其處ハ餘程ムツカシイ
所デ、行政組織ノ根本カラ言ッたら豈獨
リ此問題ノミナランヤデ、大體世間デ
色々ナ問題ニ付テ、社會局ハ商工省デ
ヤルベキモノデアルトカ、勞働問題ハ
商工省デヤッタラドウトカ云フコトモ
アルガ、併シ現在ニ於テハ將來ノ事ヲ
ドウスルト云フコトハ遠慮致シマス
ガ、現在ノ行政組織ハ監督スル事、ソレ
カラ經營シテ行クト云フ事、ソレカラ
事業ノ性質ニ依テ之ヲ區別シテ行ク
事、斯ウ云フコトデヤッテ居リマシテ、
此性質ガ似寄ッテ居ルカラ、ソレガ爲ニ
其所管ノ官廳ヲ一ニセヨト云フ御注文

デアリマスナラ、サウシナクテモ矢張
竝立シテ行ッテ何等ノ不便モ不都合モ
現在ニ於テハ無イ、保險事業ノ如キハ
デス、ソレカラ簡易保險ノ例ヲ御話致シ
マス、能ク運用ノ事ニ付テ積立金ハ
大藏省ノ預金部ニ入レルト云フ話モア
ル、一寸考ヘルトサウダケレドモ、簡易
保險ノ事業ナルモノガ其資金ノ運用ヲ
圓滿ニ巧クヤッテ行ッテ、初メテ簡易保
險ノ事業全部ガ活動シテ行クト云フコ
トニナルノデ、アレヲ切離スコトハ無
論出來ナイト同時ニ、矢張總テノモノ
ヲ打ッテ一丸トスルト云フコトハ、一寸
論トシテハ大變好イヤウデスケレド
モ、歴史的沿革ガアリ、又性質ガ違フカ
ラ、成ベクナラバ其處ハ性質ヲ異ニシ
テ居ル以上ハ、區別シテ扱ハナケレバ
ナラナイ、唯他日斯ウ云フ一ノ大キナ
局ガ、獨立シタ官衙ヲ造ッテ統一シテシ
マウト云フヤウナ問題ハ別ノ問題デア
リマスガ、現在ニ於テハサウ云フ處マ
デノ考ハ持ッテ居リマセヌ、併シ今後時
代ノ變遷ノ模様ニ依テハ、今御話ノヤ
ウナ事ニ何時カハナルヤウナ事ガアル
カモ知レマセヌケレドモ、今日ニ於テ
ハサウ云フ事ヲスル必要ナクシテ、サ
ウシテ各性質ヲ異ニスルモノダカラ、
竝立シテ行ッテ何等不都合ハ無イ、斯ウ
云フコトヲ考ヘテ居リマス

○頼母木政府委員 一寸私カラ申上ゲ
マスガ、只今ノ御議論ハ誠ニ私共モ多
年矢張同様ニ考ヘテ居ッタノデアリマ
ス、現内閣ハ御承知ノ通り行政事務ノ
統一、及事務ノ簡捷、能率ノ増進、此間
題ニ付テハ行政調査會ヲ開イテ目下各
種ノ問題ニ付テ研究ヲ致シ、既ニ成案
ノ出來テ居ルモノ、又議會ニ提出サレ
タモノモアリマス、是ハ必ズ相當ノ成
績ヲ擧ゲ得ラレルモノト確信シテ居リ
マス、ソレカラ先程同ジ特別會計ヲ澤
山設ケナイデ、一緒ニシタラドウカト
云フ御尤ノ御論デアリマス、現ニ元ト
三十七ノ特別會計ガアッテ、ソレヲ三十
ニマデ整理シテ、而シテ今度健康保險
ト此郵便年金トノ二ツガ殖エテ、三十
ニナリマシタ、要スルニ前ヨリモ特
別會計ガ非常ニ減ゼラレテ三十二ニ
ナッタト云フ事デス、ソレデ此年金ト何
トヲ一緒ニシナイ理由ハ、先達カラ屢
御質問ガアッテ答辯ヲ致シタ譯デアリ
マスガ、要スルニ計算ノ基礎モ違ヒマ
スシ、性質ガ違ヒマスカラ、今大臣ノ言
ハレマス通り、研究ニ研究ヲ重ネタ結
果、ドウシテモ是ハ別ニシナケレバイ
カスト云フ結論ノ下ニ、特別會計ヲ更
ニ一ツ殖シタ譯デアリマス

二人ノ出席ヲ願ッテアリマス、此際御急
ギノヤウデスカラ、一寸其點ダケヲ先
ヘ——中途デ恐縮デスガ……
○青木委員 自分ノ質問モ矢張其處ニ
觸レマスカラ、同時ニ御答辯ニナレバ
願ヒタイト思ヒマス

○作間委員長 租税ノ方ノ大藏省ノ政
府委員ノ方ハ御見エニナッテ居リマス
カ——サウデスカ、ソレデハ租税ノ方
ノ關係ハ後廻シニシテ、取敢ヘズ司法
省ノ政府委員ノ御出席ノ場合デアリマ
スカラ、佐藤君ノ民事訴訟トノ關係ニ
付テ御質問ヲ許スコトニ致シマス
○佐藤委員 本案第十條ノ規定ニ付
テ、差押スルコトヲ得ザル金額ヲ年額
二百五十圓トスルトシテアリマスノ
ヲ、金ヲ保護スルコト少キニ失セズヤ
ト云フコトハ先達カラ數回質問應答ヲ
サレタノデアリマスガ、本員ハソレニ
關聯シテ民事訴訟法トノ關係ヲ明ニシ
テ置キタイト思フノデアリマス、民事
訴訟法ノ六百十八條ニ依リマス「左
ニ掲グル債權ハ之ヲ差押フルコトヲ得
ス第一法律上ノ養料」ト云フノガ一ツ、
第五ニ「文武官吏、神職、僧侶及ヒ公私
立ノ教育場教師ノ職務上ノ收入、恩給
及ヒ其遺族ノ扶助料」第六ニ「職工、勞
役者又ハ雇人カ其勞力又ハ役務ノ爲ニ
受クル報酬」ト掲ゲテアリマシテ、其末
項ニ「第一號、第五號、第六號ノ場合ニ
於テ職務上ノ收入、恩給其他ノ收入カ一
ケ年間ニ三百圓ヲ超過スルトキハ其超

過額ノ半額ヲ差押フルコトヲ得」ト斯
ウナツテ居リマス、即チ三百圓マデハ絶
對ニ差押ヲシテハイケナイ、其超過ス
ル分ニ付テハ半額マデハ差押ヲシテモ
宜シイト云フコトニナツテ居リマス、然
ルニ此法律ハ御承知ノ通り明治二十三
年ニ出來マシタモノデ、極メテ物價ノ
安イ、米ノ値段ナドモ殆ド十錢モシナ
イヤウナ時代ノ規定デアリマス、即チ
立法者ノ意思ハ本法ニ記入セラレマシ
タル人ミノ生活ト云フヨリハ、寧ロ生
存ヲ保護シヤウト云フノガ根本ノ趣旨
デアッタラウト思ヒマス、是ハ洵ニ結構
デアリマス、然ルニ只今議題ニナツテ居
リマス原案ニ依リマス、二百五十圓
マデハ保護サレテ居ルガ、ソレ以上ハ保
護サレスト云フノデ、餘リ均衡ヲ失シ
テ居リハシナイカ、年額二百五十圓ト
シマスト月ニシテ僅カ二十圓足ラズ、
是デハ保護ガ餘リ薄キニ失シハシナイ
カト思フノデアリマス、一體國家ノ法
律ハ私共ノ考ニ依リマス、成ベク簡單
明瞭、且ツ成ベク統一サレタル方ガ宜
イト思フノデアリマスガ、本案ヲ起案
サレル時ニハ十分ニソレ等ノ點モ御考
慮ニナリマシテ、司法當局ニ御打合せ
モアッタラウカト考ヘルノデアリマス
ガ、ドウ云フコトニナツテ居リマスカ、
其點ヲ司法當局竝ニ保險所管ノ方ミカ
ラ御説明ヲ願ッテ置キタイト思フノデ
アリマス

○本田政府委員 御承知ノ通りニ民事

訴訟法ノ差押ノ出來ナイト云フ規定ガ
設ケテアリマス、只今御引用ニナツタ六
百十八條ノ規定ハ、主トシテ文武ノ官
吏若クハ職工、勞役者、雇人ナドノ職務
上ノ收入ヲ保護スル目的ニ出デテ居リ
マシテ、原則トシテハ差押ヲ許サナイ
ノデアリマス、年額收入三百圓ヲ超過
シタ場合ハ、其超過ノ半額ダケヲ差押
ヘルコトガ出來ルト云フ規定ニナツテ
居リマス、是ハ説明ヲ申上ゲルマデモ
アリマセヌ、生活上ノ基礎ヲドウスル
ト云フ趣意カラ斯ウ云フ特別ノ法ガ設
ケラレテ居ルノデアリマシテ、謂ハバ
動勞所得ト申シマス、動勞所得ニ依
テ生活スル地位ニ居ル人ヲ特別ニ保護
シテ居ルノガ民事訴訟法ノ規定デアリ
マス、郵便年金法ト是トハ餘程趣ガ違
ヒマシテ、司法省トシテモ逡信當局カ
ラ御交渉ヲ受ケテ意見ヲ述べタ場合モ
アリマスガ、先ヅ二百五十圓位ノ程度
ニシテ置イタ方ガ相當デアラウ、民事
訴訟法ト同一ニスルノハ餘リニ債權者
ノ利益ヲ害シハシナイカト云フコト
デ、是ダケノ區別ヲ設ケタノデアリマ
ス、御承知ノ通り民事訴訟法ノ第六編、
強制執行ニ關スルコトハ現在ニ於テ調
査委員ニ掛ケテ調査シツツアリマスノ
デ、此職務上ノ收入ニ付テモ餘リニ多
キニ過ギルト云ヒ、或ハ餘リニ少キニ
過ギルト云フ兩論ガアリマスノデ、今
改正案ニ於テハ如何ニ變化スルカ分リ
マセヌガ、現行法ニ於キマシテハサウ

云フ特殊ノ理由ニ依テ、比較的多少債
務者ヲ保護スルト云フ趣意カラ、民事
訴訟法ハ出來テ居リマスノデ、別段此
郵便年金法ト民事訴訟法ト一致シナイ
デモ差支ナイカト考ヘマス、又債權ノ
性質モ兩々全ク違フ債權デアリマスカ
ラ、其間ニ多少ノ違ヒガアリマシテモ、
立法ノ主意ヲ害スルト云フコトハナカ
ラウト考ヘマス

○佐藤委員 序デアリマスカラ二百五
十圓ヲ適當ナリト御承認ニナリマシタ
根據ヲモウ一度承リタイ

○本田政府委員 此根據ト申シマシテ
モ常識デ判斷スルノ外ハナイノデアリ
マシテ、民事訴訟法ハ詰リ勞銀或ハ月
給ト云フヤウナ、直ニ之ヲ差押ヘレバ
其日ノ生活ニ差支ヘルト云フ性質ノ債
權デアリマスカラ、比較的ハ保護ス
ル、併ナガラ郵便年金ノ方ハ幾分か其
性質ガ違ヒマスカラ、法律デ保護ヲ與
ヘル程度ヲ幾分か下ゲテモ差支ナカラ
ウト云フノデ二百五十圓ガ相當デアラ
ウト云フ意見ヲ述べタ次第デアリマ
ス

○佐藤委員 宜シウゴザイマス

○作間委員長 モウ司法省ノ政府委員
ニ御尋ハゴザイマセヌカ——ソレデハ

青木君

○青木委員 只今逡信大臣ノ社會保險
ノ統一ニ關スル所ノ抱負ヲ伺ッタノデ
アルガ、矢張現在ニ於テハ色々ノ關係
カラシテ一緒ニ集メテ統一的ニヤルト

云フコトハ、決ッテ居ナイト云フ御説明
デアリマシタ、私共ハ社會保險トシテ、
統一シテヤッタ方ガ宜イデヤナイカト
思フノハ、唯組織ノ體裁ノ上カラバカ
リデナク、社會保險ノ性質上カラ申シ
マシテ、個々ノ特別會計ヲ彼方ニモ此
方ニモ點在シテ置イテヤルト云フヨリ
モ、國家モ多少ノ保護ヲ與ヘテ、社會保
險タルノ性質ヲ十分特色着ケルト共
ニ此資金ノ融通等ニ付テモ一方簡易保
險デ儲カッタナラバ、サウシテ一方此年
金デ金ガ損スルト云フヤウナ場合ニ於
テハ、是モ矢張同ジク公共的ノ事業デ
アルカラシテ、多少融通シ合ッテ、サウ
シテ兩々相全クシテ行ク爲メ、國家モ
相當ノ負擔ヲ拂フ、斯ウ云フ風ニシテ
行カナカッタナラバ、唯加入者ノ金ヲ
預ッテ死ンダ後ニ支拂ッテヤル、唯政府
ガ信用ヲ國民ニ對シテ博スル爲ニソレ
ヲ銀行ノヤウナ積リデ金ヲ預ッテ、ソレ
ヲ返シテヤルト云フコトヲヤルダケデ
ハ、其恩恵ヲ受ケル程度範圍ト云フモ
ノハ甚ダ狭イト思フ、デスカラシテ是
ハ屬僚的ノ考ヲ一擲シテ、只今モ行政
調査會云々ト云フ御話モアリマシタ
ガ、行政調査會ノ組織内容等ニ付テハ、
私ハ固ヨリ之ヲ知ラナイガ今少シ大處
高處ヨリ政治家ガヤル時ニ於テハ、少
シ大鉅ヲ振ッテ從來ノ情實關係等ヲ一
擲シテ、目的ノ一ナル所ヲ捉ヘテ、サウ
シテ之ヲ統一シテ行ク、此斷行力ガナ
カッタナラバ何時迄モ所謂大臣ハ上ニ

乗カッテ行クダケデアッテ、何時デモ屬僚ガ起案ヲシタ、其範疇ニ捉ハレテ仕事ヲシテ行カナケレバナラヌト云フコトニナル、安達遞信大臣ナドノ政治家トシテノ價值ハ、此處ニ於テサウ云フコトヲ斷々乎トシテヤルト云フ所ニ於テ明瞭ニ發揮セラルルモノデアアル、ノミナラズ特別會計ト云フヤウナ形ニ捉ハレ、組織ニ捉ハレタ爲ニ、等シク社會保險デアアル所ノモノト、割據的ニナッテシマツテ十分ナ働ヲ現ハスコトガ出來

上ニ敢テ追窮ヲ致ス譯デハアリマセヌケレドモ、此案ニ對シテ遺憾ト思フ點ハ其點デアアルト私共ハ思フノデアアル、其處デ一方ニ於テ簡易保險デ儲カッタモノハドウシテモ簡易保險ダケ其金ヲ握ッテ居ル、此年金ノ方デ儲カレバ宜シイガ儲カラナイ時ハドウ云フコトニヤッテ行クノデスカ、此年金特別會計ニ於テハ儲カルト言ッテハ惡イガ、餘裕ガナイ事業ニナッタラドウスルノデスカ

其有無相通ズルト云フコトハ餘程考慮シナケレバナラヌ、ソレヲシナイカラ一層國民ノ信用ヲ得ルノデアアル、簡易保險ノ今日盛ナノモアレヲ旨ク運用シテ行ク、資金ヲ地方ニ還元スル、又旨ク運用ヲシテ行クト云フコトガ非常ニ加

ナコトガアッタ場合ニ、更ニ帝國議會ニ案ヲ具シテ御協賛ヲ求メテ、其時ニ機宜ノ處置ヲ執ラネバナラヌト思ヒマスガ、支障ハナイト云フ確信ノ下ニ此案ハ定メラレテ居ルノデアリマス

ナイト云フ結果ニナル、民間ノ會社ニ於テモ既ニ異ッテ居ル所ノ種類ノ保險ヲ、同一會社デ經營シテ居ルト云フヤウナコトガアルノデアリマス、民間會社ナラ不安ト云フコトモアルガ、政府ガ適當ナル方法ヲ立テテヤッテ行クナラバ、其不安ハナシ、又會計ガ案レルト云フヤウナコトハナカラウト思フノデ

○安達國務大臣 先刻來度、政治家トシテ斯ウ云フ問題ニ付テハ大蛇ヲ振ッテ、根本的ニ改革セヨト云フ御注文ダガ、問題次第デハ其御注支ノヤウナコトヲ考ヘナイデモナイガ、二度ノ御言葉ノ中ニハ貴方ノ御言葉ニ共鳴スル點モ確ニアル、吾ミガ在野ノ時ニ考ヘタ

高ガ足ラナイトキハ足リナイ方ヘ足シテ行ッテ宜イ、サウスルト會計ノ基礎ヲ紊亂スル、危フスル、ソレヲシナイ所ガ國民ノ信用ヲ博スルダラウト思フ、ソレカラ今ノ年金ガ若シ足ラナイ場合ドウスルカ、ソレハ此間保險局長カラ御答ヲシタ通り、是ハ非常ニ消極的ニ

ハ他ノ事業ニ廻スト云フコトカラ見ルト引合ハナイ、唯政府ニ預ケテ置クカラ安心ダト云フダケニ止マルノデ、今少シ此點モ民衆ガ本當ニ理解シテ之ヲ利用スベク、進メテ行クヤウナ案ノ立

ウ云フ所カラ出發シテ居ル、唯徒ニ屬僚ノ起案ニ捉ハレテ役所ヲ多クスル、仕事ヲ多クスルト云フコトニバカリナッテ、有機的ノ働ガ現ハレテ來ナイト云フト、折角ノ計畫モ其効力ヲ十分發揮スルコトガ出來ナイト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付テハ既ニ今日ニ於テハ、大臣ノ方ニ於テモ未ダ其時機ニ非ズト云フ御答辯デシタカラシテ、其

アリマセウ、何處ニカ此事務ヲ他ノ監督ノ下ニ移シタラ宜イヤウナコトモ、遞信省ハ遞信省デ取り、内務省ハ内務省、商工省ハ商工省トシテ互ニ讓ラナイヤウナ弊害モ全然ナイトハ言ハナ

割出シテアルカラ、是ヨリ以上ノコトハナイ、其上ニ算盤ヲ取ッテ非營利主義デヤッテ居ル、ソレデ萬々不都合ヲ生ズルヤウナコトハナイト云フ確信ノ下ニ立案ヲシテ居ル、併ナガラ萬々一ダ、萬一何カ變動ノ爲ニ違算ヲ生ズルヤウ

利用スベク、進メテ行クヤウナ案ノ立

方ガナカタカト思フノデアリマスガ、是ガ矢張最モ便宜ヲ圖ツタ立案ナノデアリマスカ

○安達國務大臣 掛金ノ利率ハ專門ニ調ベタ保險局長カラ説明シタ方ガ便宜ト思ヒマス

○今井田政府委員 只今ノ青木サンノ御質問ハ成ベク掛金ヲ安クシテヤルコトニシタラドウカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ出來ルダケ安クシタイ考

デ立案シタノデ、只今ノ利子ノ如キモ公債ノ時價ヲ參酌シマシテ、公債ノ利廻リカラ見マシテ餘リ引合ハナクナイ程度デ、出來ルダケ有利ノ率ヲ付ケル

ト云フコトニシタノデアリマス、又事業費ニ充テマス部分モ成ベク節約シマシテ、百分ノ五以內デ收メルト云フコトデ、サウ云フ二ツノ方面カラ致シテ出

來ルダケ有利ニ掛金ヲ算定致シタノデアリマス、外國ノ四割五分ノ掛金カラ

見ルト日本ノ方ガ安クアリ、利率ハ外國ヨリモ高イ、附加率ガ外國ヨリモ幾分

安イト云フ點カラシマシテ有利ニナッテ居ル、サウ云フ風ニ出來ルダケ有利

ニ計畫ヲ立テタノデアリマス

○作問委員長 一寸御諮リ致シマスガ、大藏省ノ特別會計擔任ノ政府委員

ガ御出席デアリマスガ、御質問ガナケレバ他ニ差掛ツタ用事ガアルカラト云フノデ、退席シタイト申サレテ居リマス、退席セラレテモ宜シウゴザイマス

カ——別ニ御質問モアリマセヌカラ御

退席ニナツテ主税ノ方ノ方ト交代シテ願ヒマス

○青木委員 簡易保險デハ三等郵便局長等ガ直接隨分活動シテ保險勸誘ヲ

ヤツテ居ル、其御蔭デ局長ナドハ大分近頃ハ歩合金ヲ取ラレテ、活動スル局長

ナドハ非常ニ役得ヲ得テ居ルノデアリマス、是ハドノ位ノ率ニ歩合ヲヤツテ居

ルノデアリマスカ

○今井田政府委員 簡易保險ニ付キマシテハ、三等局ニ對シマシテハ新契約費

ト集金費ト二通りニ分ケテ居リマス、新契約費ハ第一回保險料ノ十五割ヲヤ

ルコトニ致シテ居リマス、第一回ト申シマスト保險料ノ一月分ノ十五割、即

チ一倍半ヲ支給致シマス、ソレモ新契約後ニ於キマシテ其七割五分ヲ支給致

シマス、後トノ七割五分ハ一年後ニ於キマシテ、一年間其契約ガ繼續致シテ

居ルモノノミニ支給致スコトニナツテ

マシテハ、一件ニ付テ其複雑ノ程度ニ依テ或ハ一錢、或ハ二錢、或ハ八錢ト云

フ取扱費ヲ支給致シテアリマス、是ガ現在ノ支給ノ取扱方デアリマス

○青木委員 此年金ヲ地方ノ郵便局ヲシテ取扱ハシムルニ付テ、サウ云フヤ

ウナ費用ノ歩合ハドウ云フ風ニ致シテ居リマスカ

○今井田政府委員 年金ニ付キマシテハ契約ノ種類ニ付キマシテ違ッテ居リ

マスガ、分割拂ノ契約ノ新契約ト致シマシテ、第一回ノ掛金拂込ハ百分ノ五

ヲ支給致スコトニ致シテ居リマス、一

時拂ノ契約ノ年金額ハ比較的多クナリ

マスカラ、百分ノ一ヲ支給致スコトニ

致シタイト考ヘテ居リマス、又此契約ニ於キマシテ總テ掛金ハ窓口ニ拂込ム

コトニナツテ居リマスカラ、窓口拂込ニ對シテハ百分ノ一ノ經費ヲ支給スルコ

トニナツテ居リマスガ、併ナガラ金額ノ

カニ御答ヘシタヤウデシタガ、能ク日

本人ハ月ニ依テ一ヶ月幾ラト云フコト

ニ概念ガ浮ブノデスガ、ソレデ二千四

百圓ト云フノハ月二百圓アッタラバ相

當ノ生活ガ出來ル階級ダト、斯ウ云フ

コトニシタラドウカ、判任官ノ最高ハ

二百圓ダト云フコトモ參考ニナツテ居

リマス、サウ云フ意味カラ二千四百圓

ト云フ數字ヲ割出シタノデアリマス

○青木委員 ソレカラモウ一ツ此問題

ニ關聯シテ大臣ニ御尋シテ置キタイノ

ハ後デ條文等ニ付テハ、適宜ノ時ニ御

尋スルコトニ致シマスガ、今日八千有

餘ノ郵便局ガアルノデスガ、三等郵便

局ヲ更ニ一殖スト云フコトハ地方一

般ノ要求デアリマスガ、此三等郵便局

ノ増設等ニ付テハ遞信省ハドウ云フ御

計畫ニナツテ居リマスカ、此案トハ直接

ノ關係ハアリマセヌケレドモ一寸伺

ヒマス

○安達國務大臣 ソレハ先達ノ豫算ノ

分科會ノ時ニモ御話申シマシタガ、斯

ウ考ヘテ居リマス、實ハ遞信省ノ郵便

事務、電信、電話、斯ウ云フモノニ於テ

郵便ガ一番古イニ拘ラズ、今日一番遅

レテ居ルト私ハ這入ッテ直グニ感ジテ

居ル、俗ニ謂フ後ノ鳥ガ先ニナツテ、電信

電話ハズツト發達シ、郵便ハ遅レテ居

ル、其原因ハ色々アルデアラウガ、何ヨ

リ彼ヨリ郵便局ヲ増設スルコトガ一番

急務デアアル、増設スルニ付テハ商工業

ノ繁華ナ都會ノ地ニ對スル設計費ト、

郡部ノ村落ニ對スル設計費ト、此ニツ
ニ區別スル必要ヲ感ジテ居リマス、ソ
レデ都會ノ方ハ理想的ニ申シタラバ工
業地、商業地、住宅地ト區別シマシテ、
工業地ハ四町四方トカ、三町四方トカ
ニ一局、或ハ商業地ハ何町四方ニ一局、
ソレカラ住宅地ハモット廣クテ宜イカ
ラ何町四方ニ一局ト云フヤウニ割出シ
タイ、ソレカラ村落ハ町ノ方ハ大概郵
便局ガアルガ、村ノ方ハサウ云フコト
ニ拘泥セズ、ソレカラ人口ト云フモノ
ハ無論標準ニシマスガ、餘リ人口バカ
リヲ標準ニスルト公平ヲ誤ル、ソレデ
今度一村一局ト云フノハ、郵便取扱所
ト云フ三等局ノ又一層簡易ナモノヲ、
段々一村ニ一箇所置ク方針ヲ執リタ
イ、諸官衙ノ總テノ施設ハ人口ヲ標準
ニスルコトガ多イ、所ガ人口ヲ標準ニ
シテ種々割出シテ見マス、東京ヨリ
西南ノ方ガ何時デモ配置ガ多クナッ
テ來ル、是ハ例ヘバ健康相談所ノ如キモ
人口何萬以上トアルカラ、東北ノ方ハ
仙臺ニ在ルガ外ノ都市ハ悉ク落第デア
ル、ソレデ私ノ考デハ人口ハ無論標準
ニシ參考ニセナケレバナラヌケレド
モ、單ニ人口バカリデ行ッテハイケナ
イ、特ニ西南ニ多クナッテ東北ハ閑却
サレルカラ宜シクナイ、矢張郵便局ノ
如キモ一村一ヶ所トシテヤル、ソレデ
今度ハ集配局ガ五十局デ、ソレカラ請
願ニ依ル局ガ五十、ソレカラ請願ニ依
ラザルモノガ五十局、ソレカラ三等局

ヲ人口ノ増加ヤ色々ナ事カラ非常ナ繁
劇ノ爲ニ二等局ニ昇格スルモノガ八
局、其他今御話ノ村落ニ造リタイ簡易
ノ郵便取扱所ヲ二百箇所、ソレデ合計
三百箇所今度造ル積デアリマスガ、ソ
レデモ中ニ足ラナイ、マダ約五千位村
ニ郵便局ノ無イ所ガアリマス、現在八
千六百アルケレドモ——ソレデ今年ハ
マア三百デスガ、年々此方ハ他ノ政黨
ガ内閣ヲ取り誰ガ遞信大臣ニナッテモ、
私ハ今申シタヤウナ方針デ、歷代ノ遞
信大臣ガココ數年ノ間ニ郵便局ヲ増設
シテ戴キタイト云フ考デ今ヤッテ居リ
マス、ソレガドウシテ斯ンナニ閑却サ
レテ居ルカト云フト、矢張村落ノ方ガ
必要ノ叫ガ遅レテ居ル、近來農村振興
ノ如キハ各黨派ヲ通ジテ殆ド流行ノ如
クニナッテ居リマスガ、農村振興ノ叫ガ
今マデ遅レテ居ッタヤウニ——郵便局
設置ノ請願ハ大分出ルケレドモ、矢張
取扱ガ自然ト遅レテ居ル、誰ノ責任デ
モナシ失策デモナイガ、各政黨ヲ通ジ
テ吾輩ハ矢張閑却サレテ居ッタと思、フ
ソレデ三等郵便局ノ簡易ナモノヲ成ベ
ク多ク造ッテ、全國各村落ニ少クトモ一
箇所ヅツ在ルヤウニシタイ、斯ウ云フ
考ヲ持ッテ居リマス

○平田委員 私ハ此法案ハ洵ニ老後ノ
生活ノ安定ヲ圖ルト云フ意味ニ於テ良
案ダト思ウテ居ルノデアリマスガ、從
來民間デ、保險會社デ之ニ似寄ッタヤウ
ナ方法ヲ實行シテ居ルモノガアルノ
デ、ソレニ付テ色々質問ヲ申上ゲタイ
ト思ッテ居ッタガ、今佐藤君カラ聞キマ
スト、既ニ先日サウ云フ質問ヲシタト
云フ話デアアルカラソレハ宜シウゴザイ
マスガ、是ハ外國ニモ斯ウ云フ郵便年
金ト云フ制度ガアルデアリマセウガ、
現在此諸外國ニ於テ實際之ヲ實施シタ
結果ハドウ云フ事ニナッテ居リマスガ、
ソレカラ今政友會ノ青木サンカラノ質
問デ、若シ此成績ガ餘リ宜クナク、サウ
シテ損失デモシタト云フヤウナ時ハド
ウデアアルカト云フ質問ニ對シテ、ソレ
ハ又更ニ先ニ行ッテ考慮スルト云フ
御答ノヤウニ聽キマシタ、外國デ現在
國庫カラ年々幾分ヅツ補給シテ居ルト
云フヤウナコトハナイモノデアリマス
カドウカ、ソレカラ更ニ今一ツ私ハ此
法案ニ付テ一番重要ナノハ、金利ノ利
廻リノ事デアリマス、都會地ハ隨分利
子モ安イノデアリマスガ、田舎デハ隨
分銀行預金ノ如キモノハ高イノデアリ
マス、私ハマダ此計算ヲ實ハ當ッテ見マ
セヌケレドモ、一寸見マシタ所デ隨分
長イ年月ノ間拂込ンデ行クモノトシマ
スト、銀行ニ預金シテ置イテ引出シテ
使フノトハ、餘程利廻リハ惡イモノニ
ナッテ來ハセヌカ、固ヨリ斯ウ云フ掛金
ヲ御定メニナルニ付テ、利廻ノ事ナド
ハ政府ニ於テハ十分御研究ナスッタコ
トト思ヒマスガ、今青木サンノ御質問
ノ如ク、モウ少シ之ヲ掛金ヲ安クシナ
イト云フト此實施シタ曉ニ於テ澤山ナ

加入者ヲ見ルコトガ出來ヌヤウナコト
ハナイデアラウカト氣遣ウテ居リマ
ス、現在諸外國ノ實例ガアリマスナラ
バ、ソレヲ參考ニ聽イテ置キタウゴザ
イマス
○安達國務大臣 外國ノ例ノコトハ御
手許ニ差上ゲデアリマス其中ニアル
筈デアリマス、ソレカラ第二ノ事柄ニ
付テ私一言申上ゲテ置キマス、曩ニ私
ノ青木君ノ御尋ニ御答シタノハ、萬々
サウ云フ引合ハナイヤウナコトハナイ
ト云フ確信ノ上ニ、此特別會計ヲ作ッテ
法案ヲ出シテ居ル、併ナガラ萬々一サウ
云フコトガアッタ場合ニハドウスルカ
ト云フト、其時ニハ特ニ案ヲ具シ、帝國
議會ニ出シテ協賛ヲ仰グヤウナ手段ヲ
執ルヨリ外ナイト思ヒマス、ソレカラ
利廻ノコトナドハ是ハ保險局長カラ御
答ヲスル方ガ宜イト思ヒマスガ、私一
言申シテ置キマスガ、全ク斯ウ云フコ
トハ素人デアアルガ、利廻リノ引合ファ
ウニシテ、サウシテ普通ノ預金ノ利廻
リト同ジニスルト云フコトハ無理デハ
ナカラウカ、普通ノ保險ハ長生スルト
利廻リガ引合ハヌガ、併シ長生スルト
云フ利益ガアルカラ、早く死ヌ者ガ保
險金ヲ取ルト云フコトニナリマスガ、
長生シテサウシテソレガ利廻リニ於テ
引合ハヌト云フコトハ、無理デハナイ
カト思ヒマス
○平田委員 保險年金ノ性質カラ云ヘ
バ一種ノ保險デアリマスガ、外國ナド

デハ掛金ヲドン／＼捨て、行クト云フ話モ聞イテ居リマス、併シサウ云フコトハ性質カラ云フト望ムノハ悪イカモ知レマセヌガ、實際ノ現在ノ狀況トシテ斯ウ云フ事デ實際勸誘ニ應ズル者ガアルカト云フコトヲ疑フノデアリマ

ス
○今井田政府委員 只今ノ御質問ハ外國デ經費ヲ補助シテ居ル所ガアルカ、ソレカラ金利ニ付テデアリマスガ、強制年金制度ニ於キマシテハ、補助シテ居ル所ハ澤山アリマスガ、斯ウ云フ保險ノ性質ヲ帶ビテ居ルモノニ補助シテ居ル所ハ外國ニハ無いノデアリマス、唯加奈陀ニ於キマシテ郵便局ニ於テ取扱ッテ居リマスガ、事業費ニ該當スル分ハ取ッテ居リマセヌ、取扱ダケハ政府ノ負擔トシテヤッテ居リマス、其他ニ例ハアリマセヌ、ソレカラ金利ノ關係デアリマスガ、金利ニ付テハ先程青木サノ御質問ニ御答シタヤウニ、出來ルダケ有利ニ致シテ居リマス、外國ノ例ヲ言フト外國ノ豫定利率ハ年四分デアリマス、英國ノ如キハ「コンソル」公債ノ相場表ニ依ルト、二分半位ノ利益ニナッテ居リマス日本ノ保險事業ノ豫定率ヲ見ルト、死亡保險ニ於テ四分、生存保險ニ於テ四分乃至六分デアリマスガ、大部分ハ五分又ハ四分デアリマス、ソレカラ日本デ行ッテ居ル年金保險ニ付テ見ルト、其豫定率ガ五分ニナッテ居リマス、斯ウ云フ風ニ長期ノ契約デアアルカ

ラ確實ナル利率ヲ豫定シテ、之ヲ基礎トシナケレバナラヌト云フコトハ、申上ゲルマデモナイコトデアリマス、ソレデ此年金ニ於テハ分割拂ヒニ於テハ豫定利率ヲ五分トシテ居リマス、此五分ハ内國ニ於ケル公債ノ利廻、其他ヲ斟酌シテ將來ニ於テモ此豫定率ハ十分ニ維持ガ出來ル見込デアリマス、併ナガラ現在ノ金利ノ狀態ト致シマシテハ五分ハ比較的低位ト云フコトニナル、現在ノ公債ノ利廻其他ヲ基礎ト致シテ見マスレバ、恐ラク六分位ニナルト考ヘアリマスカラ、其當時ニ於ケル公債ノ利廻ヲ斟酌シテ出來ルダケ有利ニ決メタイト考ヘテ居リマス、他ノ金利ノ狀態カラ見マスレバ金利ガ安イト云フコトニナルガ、是ハ出來ルダケ確實ナモノニ向ッテ放資スルト云フ關係ガアリマスカラ、市場ノ公債ノ利廻ヲ參酌シテ定メタノデアリマス、假ニ現在ノ公債ノ利廻カラ利率ヲ定メマスレバ六分トナルト考ヘマスガ、現在假ニ六歩ト見マスレバ、此六歩ハ民間デ行ッテ居リマス所ノ豫定率ヨリモ低クナイノデアリマス、サウ云フコトニ致シマシテ出來ルダケ有利ニシマシテ、掛金ヲ安クシテ居ル積リデアリマス

○今井委員 誰方カラカ御尋ガアッタカ知リマセヌガ、此施行期日ハ勅令ヲ以テ定ムト云フコトガ書イテアル、政府ノ豫定デハ何日頃カラ實施サレル豫定デアリマスカ、此法案ハ長イ間歷代ノ内閣ガ研究サレテ居ッテ、私共ハ其内容ニ付キマシテ容嘴スベキモノデナイト思ヒマスケレドモ、若シ政府ノ方ニ於テ、一日デモ早クヤリタイト云フコトデ、此法案ヲ御出シニナリマシタナラバ、同時ニ之ニ附帶スル準備金ト云フヤウナモノモ追加豫算カ何カノ形式ニ於テ、此議會ニ御出シニナルノデアリマスカ、若シソレガナクテ此法案ダケヲ此議會ニ於テ決定サレルト云フ御見込デアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイ

○安達國務大臣 施行期日ハ十月一日、ソレカラ追加豫算ハ不日御協賛ヲ願フ積リデアリマス

○今井委員 サウシマシテ之ニ要スル準備金ト云フモノハ大體下ノ位アリマスカ、ソレニ特別會計ノ關係カラ之ニ要スル費途モアリマスカ、大體下ノ位ナ準備金ガアリマスカ、之ヲ一ツ御聞シタイノデアリマス

○今井田政府委員 此準備費トシテ一般會計ヨリ一萬五千八百八十一圓ノ支出ヲ仰グ積リデアリマス、其中八千九百六十三圓ハ消耗品、即チ印刷物ノ代金デアリマス、ソレカラ六千九百十八圓ハ此實施準備ノ爲ノ旅費デアリマス、此消耗品ノ費用ト旅費ダケヲ一般會計カラ補助ヲ受ケテ、此事業ノ創始マデノ費用ニ致サウト思ウテ居リマス、ソレカラ事業創始後ニ於テ此事業カラ生ズル收入、即チ附加率ト云フ事

○今井委員 モウ一ツ伺ヒマスガ、特別會計ノ積立金ノ運用ニ關シテハ、勅令ヲ以テ定メルコトト思ヒマスガ、此積立金ニ關スル腹案ガアリマスレバ伺ヒタイ

○今井田政府委員 勿論勅令ニ讓リマシテ、確定ノ案ハアリマセヌ、草案トシテ拵ヘタモノガアリマスカラ、後刻御覽ニ入レマセウカ、——只今申上ゲマス、積立金ノ事業ニ關スル勅令ハ大體ニ於テ現在ノ簡易保險ノ積立金ノ運用ノ規則ト同ジヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、其主要ナル點ヲ一ヶ所讀上ゲマスレバ「積立金ハ郵便年金法第十五條ノ規定ニ依リ年金契約者又ハ年金受取人ニ貸付ヲ爲ス場合ヲ除クノ外簡易保險積立金運用委員會ニ諮問シ公債ヲ購入シ其ノ他有利且確實ナル方法ヲ以テ公共ノ利益ノ爲メニ之ヲ運用スヘシ」是ガ運用規則ノ骨子デアリマス、其他ハ主トシテ手續ニ互ルモノデアリマ

○今井委員 誰方カラカ御尋ガアッタカ知リマセヌガ、此施行期日ハ勅令ヲ以テ定ムト云フコトガ書イテアル、政府ノ豫定デハ何日頃カラ實施サレル豫

○今井田政府委員 勿論勅令ニ讓リマシテ、確定ノ案ハアリマセヌ、草案トシテ拵ヘタモノガアリマスカラ、後刻御覽ニ入レマセウカ、——只今申上ゲマス、積立金ノ事業ニ關スル勅令ハ大體ニ於テ現在ノ簡易保險ノ積立金ノ運用ノ規則ト同ジヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、其主要ナル點ヲ一ヶ所讀上ゲマスレバ「積立金ハ郵便年金法第十五條ノ規定ニ依リ年金契約者又ハ年金受取人ニ貸付ヲ爲ス場合ヲ除クノ外簡易保險積立金運用委員會ニ諮問シ公債ヲ購入シ其ノ他有利且確實ナル方法ヲ以テ公共ノ利益ノ爲メニ之ヲ運用スヘシ」是ガ運用規則ノ骨子デアリマス、其他ハ主トシテ手續ニ互ルモノデアリマ

○今井委員 勿論勅令ニ讓リマシテ、確定ノ案ハアリマセヌ、草案トシテ拵ヘタモノガアリマスカラ、後刻御覽ニ入レマセウカ、——只今申上ゲマス、積立金ノ事業ニ關スル勅令ハ大體ニ於テ現在ノ簡易保險ノ積立金ノ運用ノ規則ト同ジヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、其主要ナル點ヲ一ヶ所讀上ゲマスレバ「積立金ハ郵便年金法第十五條ノ規定ニ依リ年金契約者又ハ年金受取人ニ貸付ヲ爲ス場合ヲ除クノ外簡易保險積立金運用委員會ニ諮問シ公債ヲ購入シ其ノ他有利且確實ナル方法ヲ以テ公共ノ利益ノ爲メニ之ヲ運用スヘシ」是ガ運用規則ノ骨子デアリマス、其他ハ主トシテ手續ニ互ルモノデアリマ

○今井田政府委員 勿論勅令ニ讓リマシテ、確定ノ案ハアリマセヌ、草案トシテ拵ヘタモノガアリマスカラ、後刻御覽ニ入レマセウカ、——只今申上ゲマス、積立金ノ事業ニ關スル勅令ハ大體ニ於テ現在ノ簡易保險ノ積立金ノ運用ノ規則ト同ジヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、其主要ナル點ヲ一ヶ所讀上ゲマスレバ「積立金ハ郵便年金法第十五條ノ規定ニ依リ年金契約者又ハ年金受取人ニ貸付ヲ爲ス場合ヲ除クノ外簡易保險積立金運用委員會ニ諮問シ公債ヲ購入シ其ノ他有利且確實ナル方法ヲ以テ公共ノ利益ノ爲メニ之ヲ運用スヘシ」是ガ運用規則ノ骨子デアリマス、其他ハ主トシテ手續ニ互ルモノデアリマ

○今井委員 誰方カラカ御尋ガアッタカ知リマセヌガ、此施行期日ハ勅令ヲ以テ定ムト云フコトガ書イテアル、政府ノ豫定デハ何日頃カラ實施サレル豫

○今井田政府委員 勿論勅令ニ讓リマシテ、確定ノ案ハアリマセヌ、草案トシテ拵ヘタモノガアリマスカラ、後刻御覽ニ入レマセウカ、——只今申上ゲマス、積立金ノ事業ニ關スル勅令ハ大體ニ於テ現在ノ簡易保險ノ積立金ノ運用ノ規則ト同ジヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、其主要ナル點ヲ一ヶ所讀上ゲマスレバ「積立金ハ郵便年金法第十五條ノ規定ニ依リ年金契約者又ハ年金受取人ニ貸付ヲ爲ス場合ヲ除クノ外簡易保險積立金運用委員會ニ諮問シ公債ヲ購入シ其ノ他有利且確實ナル方法ヲ以テ公共ノ利益ノ爲メニ之ヲ運用スヘシ」是ガ運用規則ノ骨子デアリマス、其他ハ主トシテ手續ニ互ルモノデアリマ

○今井委員 勿論勅令ニ讓リマシテ、確定ノ案ハアリマセヌ、草案トシテ拵ヘタモノガアリマスカラ、後刻御覽ニ入レマセウカ、——只今申上ゲマス、積立金ノ事業ニ關スル勅令ハ大體ニ於テ現在ノ簡易保險ノ積立金ノ運用ノ規則ト同ジヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、其主要ナル點ヲ一ヶ所讀上ゲマスレバ「積立金ハ郵便年金法第十五條ノ規定ニ依リ年金契約者又ハ年金受取人ニ貸付ヲ爲ス場合ヲ除クノ外簡易保險積立金運用委員會ニ諮問シ公債ヲ購入シ其ノ他有利且確實ナル方法ヲ以テ公共ノ利益ノ爲メニ之ヲ運用スヘシ」是ガ運用規則ノ骨子デアリマス、其他ハ主トシテ手續ニ互ルモノデアリマ

○今井田政府委員 勿論勅令ニ讓リマシテ、確定ノ案ハアリマセヌ、草案トシテ拵ヘタモノガアリマスカラ、後刻御覽ニ入レマセウカ、——只今申上ゲマス、積立金ノ事業ニ關スル勅令ハ大體ニ於テ現在ノ簡易保險ノ積立金ノ運用ノ規則ト同ジヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、其主要ナル點ヲ一ヶ所讀上ゲマスレバ「積立金ハ郵便年金法第十五條ノ規定ニ依リ年金契約者又ハ年金受取人ニ貸付ヲ爲ス場合ヲ除クノ外簡易保險積立金運用委員會ニ諮問シ公債ヲ購入シ其ノ他有利且確實ナル方法ヲ以テ公共ノ利益ノ爲メニ之ヲ運用スヘシ」是ガ運用規則ノ骨子デアリマス、其他ハ主トシテ手續ニ互ルモノデアリマ

○今井委員 誰方カラカ御尋ガアッタカ知リマセヌガ、此施行期日ハ勅令ヲ以テ定ムト云フコトガ書イテアル、政府ノ豫定デハ何日頃カラ實施サレル豫

○今井田政府委員 勿論勅令ニ讓リマシテ、確定ノ案ハアリマセヌ、草案トシテ拵ヘタモノガアリマスカラ、後刻御覽ニ入レマセウカ、——只今申上ゲマス、積立金ノ事業ニ關スル勅令ハ大體ニ於テ現在ノ簡易保險ノ積立金ノ運用ノ規則ト同ジヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、其主要ナル點ヲ一ヶ所讀上ゲマスレバ「積立金ハ郵便年金法第十五條ノ規定ニ依リ年金契約者又ハ年金受取人ニ貸付ヲ爲ス場合ヲ除クノ外簡易保險積立金運用委員會ニ諮問シ公債ヲ購入シ其ノ他有利且確實ナル方法ヲ以テ公共ノ利益ノ爲メニ之ヲ運用スヘシ」是ガ運用規則ノ骨子デアリマス、其他ハ主トシテ手續ニ互ルモノデアリマ

○今井委員 勿論勅令ニ讓リマシテ、確定ノ案ハアリマセヌ、草案トシテ拵ヘタモノガアリマスカラ、後刻御覽ニ入レマセウカ、——只今申上ゲマス、積立金ノ事業ニ關スル勅令ハ大體ニ於テ現在ノ簡易保險ノ積立金ノ運用ノ規則ト同ジヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、其主要ナル點ヲ一ヶ所讀上ゲマスレバ「積立金ハ郵便年金法第十五條ノ規定ニ依リ年金契約者又ハ年金受取人ニ貸付ヲ爲ス場合ヲ除クノ外簡易保險積立金運用委員會ニ諮問シ公債ヲ購入シ其ノ他有利且確實ナル方法ヲ以テ公共ノ利益ノ爲メニ之ヲ運用スヘシ」是ガ運用規則ノ骨子デアリマス、其他ハ主トシテ手續ニ互ルモノデアリマ

スガ斯様ニ致シマシテ此積立金ハ年金法第十五條ニアリマス通り、年金契約者ニ貸付ヲ致シマス、其貸付ノ外ハ公債其他公共事業ニ使ヒマスガ、此事業カラ這入リマス収入ノ大部分ハ、一時拂ノ掛金カラ起リマス、其一時拂掛金ハ直ニ之ヲ以テ公債ヲ購入スル方針ヲ執ツテ居リマス、其爲ニ大部分ハ公債ニ投ズルモノト考ヘテ居リマス、併ナガラ其幾分ハ公債並ニ公共事業ノ爲ニ運用スルコトニナルカト考ヘマス

○青木委員 此年金法案六條ニ關シテ御尋シマスガ、契約ヲスル時、此年金契約ト云フモノハ、年齢ガ最も大切ナ事デアリマス、年齢ノ證明ト云フノハドウ云フ風ニ爲サルノデスカ、窓口デノ契約ノ手續ハドウ云フ風ニスルノデスカ

○今井田政府委員 細目ニ互リマシテハ取扱規定ニ定メルコトニ致シテ居リマスガ、窓口ノ取扱ニ付キマシテハ一定ノ申込書ヲ印刷シテ、ソレニ對シテ契約者又ハ申込者ヲシテ記入セシムルコトニ致シテ居リマス、ソレデ一番問題ガ起リマスノハ年齢ニ付テ虚偽ノ申立ヲスル、或ハ惡意デハアリマセヌデモ誤ッテ記入ヲ致スト云フヤウナコトガナイトモ限リマセヌ、之ニ對シテハ後日發見シタ時ニ、ソレニ對シテ訂正ヲ致スト云フ規定ガ年金第六條ニ掲ゲテアリマス、又支拂ヲ開始スル時期ニナリマスルト、年金受取人ノ生存證明

書ヲ出サセテ、其人ガ生キテ居ルト云フ確證ヲ得タ上デ年金ヲ拂フコトニ致シマス、又支拂開始後ハ支拂ノ度毎ニ生存證明書ヲ取ルコトモ非常ナ煩雜デアリマスカラ、必要ナ都度其證明書ヲ取りマス、取ラヌ場合ニハ郵便局カラ始終集配人ヤ監督ガ廻ッテ居リマスカラ、是等ノ者ニ調査致サセマシテ、死亡後ニ於テ過拂ノナイヤウニシタイト思ヒマス

○濱田委員 先達今井田サンニ非公式ニ伺ヒマシタガ、今外國ノ例モ出マシタノデ、丁度好イ機會ト思ヒマスガ、御承知ノ通り私ハ他ノ歐羅巴ノ事ハ知リマセヌガ、英吉利デハ十五六年前カラト思ヒマスガ、養老年金ト譯サレテ居リマスガ、七十歳以上ノ者デアッテ扶養ノ義務者ノ無イ者ニハ、政府カラ慈善的ニ死ヌ迄年金ヲ與レルト云フヤウナ制度ニ付テ御考ニナッテ居リマセヌカ、ト申シマスノハ此制度ヲヤッテモ加入者ハ少カラウ、場合ニ依テハ積立金ナドハ餘リ多ク上ラナイカモ知レマセヌ詰リ收支ガドウカト云フコトノ多少ノ疑ノ念モ御持チニナッテ居ルヤウデアリマスガ、果シテサウ云フ成績デアルトシマスレバ、寧ロ進ンデ社會政策ノ主義ヲ徹底サセルト云フ意味カラ、サウ云フ所ニ進ンデシマフト云フヤウナコトヲ御調ベニナッタコトハアリマセヌカ、是ハ或ハ御所管違ヒカモ知レマセヌガ、内務省ノ所管ニ屬スルカモ知

レマセヌガ、私ハ社會政策ト云フ點カラ考ヘマス、極メテ徹底シタモノデハナイカト思ヒマスガ、此機會ニ於テ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○安達國務大臣 ソレハ、只今濱田君ノ御尋ハ、濱田君自ラノ御話ニナルヤウニ、此問題ハ別ニ政府ガサウ云フ事ヲスルコトニ付テハ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ非常ニ加入者ガ少カラウト云フコトハ違ヒマス、是ハ萬違算ナキヲ期スル爲ニ少イモノト云フ基礎ノ上ニ立ッテ居ルノデ、考ハ非常ニ多イト云フ考デアリマス、加入者ハ是カラ大ニ宣傳シテ十分アルト思フ、併シ萬々一ノ事ガアル爲ニ非常ニ消極的ニ基礎ヲ置イテ居リマス、併ナガラ非常ニ加入者ハ多イ積リデアリマス、ココ數年ノ間ニ大分此事業ハ發達スル、又發達サセタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマス、ソレデ今御話ノ事ハ年金法案ニ付テハ私ハ考ヘテ居リマセヌ

○濱田委員 内務省アタリトモ打合ハナイノデスカ

○安達國務大臣 アリマセヌ

○若宮委員 モウ大分同僚諸君カラノ質問デ大體ノ要旨ハ盡キテ居リマスガ、同僚濱田君、青木君アタリカラ質問サレタ要點、竝ニ吾々共ノ考ノアリマス所ハ、今遞信大臣モ言ハレマシタケレドモ、大體ノ骨子ヲ拜見シテ見ルト、年金ヲ受取ルト云フ便宜ナ方法ハ是デ講セラレテ居リマスケレドモ、是ガ爲

ニ國庫カラ補助ヲスル、特別ナ年金ニ付テ便利ヲ圖ルト云フコトノ方ハ含ンデ居ラス、ソレデ外國ノ例モ茲ニ參考書トシテ頂戴シタノヲ拜見シテ見タノデスカ、惟フニ今日ノ如キ社會問題ガヤカマシクナイ前ニ出來タ所ノ制度ガ多カラウト私ハ想像シマス、之ヲ他ノ言葉デ言ヒ現シマス、餘リ多ク以前デハアリマセヌ、少シク以前ニ丁度社會政策ナリ社會問題ナリヲ解決スルト云フ時ニハ、極メテ適當ナ方法デアッタラウト思フ、併ナガラ今後ノ社會問題、之ニ對應スベキ社會政策ト云フコトデハ、或ハ聊カ手溫シトスル感ガ政府ニ於テモ御有リデハナカラウカ、吾々ニ於テモサウ云フコトヲ考ヘル時期ガ極メテ近キ將來ニ來ルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ一面ニ頭ノ中ニ考ヘマス、ソレカラモウ一ツハボツリ

社會政策——簡易保險ト申シテモ、年金ト申シテモ、何レモ社會政策ヨリ外ニ目的ノアルベキ筋デハアリマセヌ、マサカ之ニ依テ政府ガ收入ヲ得ラレルト云フ爲ニヤルノデナイト云フコトハ、特別會計法ヲ見テモ分ッテ居ル、又從來有餘ッテ居ラレル遞信省ノ仕事ニ、更ニ斯ウ云フ事ヲスルト云フ譯ハアリマセヌ、サウスルト社會政策ヨリ外ニ何等ノ目的ノアルベキ筋デハナイト思フ、又事實ナイコトヲ信ズル、其社會政策ノモノヲボツリ——ヤッテ居ルガ、又今現ニ茲デハ健康保險法ト云フモノガ將

ニ實施ノ時期ニ這入ッタノデアアル、今後色ミ社會保險ト云フヤウナモノガ後トカラ後トカラ出テ來ナケレバナラヌ、サウスルト前段申シマスルヤウナ手溫イモノデ宜イカ否ヤ、言葉ヲ換ヘテ言フト、掛金ノ半分位政府カラ補助シテ行カナケレバナラヌト云フ時期ガ來ルノデナカラウカ、ソレカラ種々ナル社會政策ノ必要カラ生ズル所ノ社會保險ト云フモノヲ、ボツリ／＼ヤツテ、彼方ニモ特別會計ヲヤツテ居ル、此方ニモ特別會計ヲヤツテ居ルト云フコトハ、一體近イ將來ノ日本ノ社會問題ニ對應スル爲ニ適當デアアルヤ否ヤ、ソレ是レ考ヘマスト同僚諸君ガ質問シマシタヤウニ、一ツノ簡易保險ナラ簡易保險、又年金ナラ年金ト云フヤウニ部分的ニ聞イテ見レバ、政府ノ御説明モ一々御尤ノヤウニ考ヘマスケレドモ、何レモ社會政策、此社會問題ヲ緩和スベキ方法ト云フ國家ノ大キナ目カラ見テオキデニナレバ、種々ナル社會保險ノ諸制度ヲ一括セラレテ、其間ニ互ニ相援ケルト云フ手段ヲ執ラレテモ、之ハ決シテ國家ノ目的ヲ害スルモノデハナイ、益ソレガ國家ノ社會政策ノ目的ヲ遂行スルニ便利ニナルト云フ場合ガ、最も近ク來リヤセヌカト云フコトヲ前提トシテ、同僚ノ質問ガアツタモノト心得テ居リマス、併シ政府ノ只今迄ノ御答辯ニ依レバ、政府ニ於テ御考ニナツテ居ル趣旨モ分リマシタガ、私共ハ其御趣意ニ依テ

一ツ退イテ研究ヲ遂ゲテ見タイト思フノデアリマス、唯併シ是ハ質問ノ體ヲ爲サヌカモ知レヌガ、政府ニ於テモ其點ヲ能ク御考ヘ下サイマシテ、部分部分ヲ御覽ニナツテ、保險ノ團體、年金ノ團體ト云フモ尊重スルト云フヤウナコトナク、有體ニ申上グルナラバ、小サイ目デ御覽ニナラヌデ、國家全體ニ目ヲ注イテ御覽ニナツタナラバドウカト云フコトヲ、念頭ニ置イテ御攻究ヲ願ヒタイ、ソレカラ御尋ネシタイ點ハ、簡易保險ノ經驗ニ照シテ見マスルト云フト、當該ノ官吏ノ御方ガ、先程モ遞信大臣ノ卒直ニ申サレマシタ通りニ、種々ナル方法デ調べラレ、種々ナル統計ヲ本トセラレテ、危氣ノナイヤウニ十分ニ注意シテ此計算ヲシテ居ルト云フコトハ、凡ソ想像ガ附キ得ルガ、近イ先例ニ照シテ見ルト、簡易保險ガ、今剩餘金ト申シマス、此剩餘金ハ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ純益金デアリマス、此純益金ガ今日ニ於テモ相當多額ニ上ッテ居ルト思フ、是ハ甚ダ穩カナラヌ言葉ヲ使フヤウデアルガ、持餘シテオキデニナルカノ如キ感シガアリマス、持餘シテ居ルト云フト御無禮ニナルカモ知レヌガ、現ニ健康相談所ト云フヤウナモノニハ或ル金額ヲ注イデ居ラレル、一體此國民ノ保健ノ事ナラバ、遞信省デモ農民全體ノ保健ヲオヤリニナルト云フコトヲヤラヌデ、國民ノ保健衛生ト云フコトカラ、大キナ目ヲ以テ大キナ設

備ヲサレテモ宜イデヤナイカト思フ、ケレドモ今簡易保險ノ部分デヤツテオキデニナル事ヲ直接ニ惡イト申上グルノデハナイガ、サウスル事ヲシテ、又時ニ依リマスと云フト、醫術ノ方ノ側ノ向カラ誤解ヲ受ケルト云フ言葉モ穩カナラヌカ知レヌガ、何カ知ラヌ面白カラザル感シヲ持タレルヤウナコトヲシテ、剩餘金ヲ御増シニナラヌデモ、國民ノ保健衛生ニ關スルコトナドハ保健ノ方ニ御委セニナツテ、之ハ一體其掛金ノ方ヲ減セラルルコトガ最も適當ナ處置デアラウト信ジテ居リマス、之ハ御記憶ノ通りニ簡易保險法ノ改正法案ガ委員會ニ付託セラレタ時分ニ、私其事ノ質問ヲ申上ゲタノデアアルガ、其通りデアアルガ、今實際ノ手數ノ上カラ出來スト云フ御答辯デアッタト思フカラ、其程度ニ止メテ置イタ次第デアアル、此年金モ御答辯ノ通りニ非常ニ注意シタル計算ノ下ニ出來テ居ル結果ハ、必ズト申上ゲテ差支ナイト思フガ、茲ニ剩餘金ヲ相當生ジテ來ルヤウニ思フ、之ニ付テドウ云フ風ニ此剩餘金ヲ處分セラルルカ、今カラ簡易保險ノ人數増加ニ付テ豫メ御攻究ニナツテ居ラヌト、七百萬圓モ殖エテ、ドウ料率ヲ取換ヘルカ、ソレガ出來ヌト云フヤウナコトヲ仰シヤルヤウナコトガ出來ヤセヌカ、此點ニ付テ政府ノ御用意ノアル所ヲ承ツテ置キタイ

○安達國務大臣 大體論トシテ御尤ナ御話デスガ、貴方ノ經驗カラ、若宮サントシテハ此郵便年金ニ社會問題ノ責任ヲ餘リ多ク掛ケ過ギテ居リヤセヌカト思フ、郵便年金ノ問題デ此保險ニ關スル社會事業ノ大部分ヲ解決シナケレバナラヌト云フノデ、郵便年金ノ方ヲ重クナサツテ居リヤセヌカ、吾々ハ社會政策ノ一部トシテ之ヲ考ヘテ居ル、社會政策——社會政策ト云フ今日非常ニ政黨野ヲ通ジテ言ツテ居ルコトデ、其通リニ違ヒナイガ、今ノ色ミナ問題ヲ集メテ、其所ニ私ハ社會事業ト云フ大目的ガ達セラレルダラウト思フ、郵便年金ハ郵便年金トシテ、其年金ダケノ働キ社會問題ノ幾分ヲ解決シ緩和シテ行クト、斯ウ大體論ジテ見ナケレバイカナイト思フ、ソレカラ貴方ノ御論、其他先刻カラノ青木サンカラノ御論ヲ綜合シテ考ヘルト、ドウシテモ茲ニ獨立シタ大キナ保險局ト云フカ保險省ト云フカ、一ツノ官衙ヲ拵ヘテ、其所デ統一シテ行クト云フ案ニ歸著スルネ、是モ一種ノ案ト私ハ申上ゲテ宜カラウト思フ、併シ吾々ハ今迄ハ持ッテ居ラナイガ、政界ノ情勢デハ、アナタ方政友會デサウスル意見ヲ執ラレテ居レバ、サウスルコトガ實現スルコトガアルカモ知レヌガ、現在デハ此法律ノ範圍内ダケデ仕事ヲシテ、サウスル社會事業ノ上ニ郵便年金ガ幾分カ裨益スル所ガアルダラウト云フコトデアリマス、ソレデモウ少シ不徹底デハナイカ、ゾット數年

前カラノ考デ、今日モウ少シ社會ガ進
ンデ居ル、或ル意味ニ於テハ深酷ニナ
テ居ル、ソレ故不徹底デハナイカト云
フ御意見モアル、ソレトハ種類ガ違フ
ガ、他ノ方面デハ今御話ノヤウナコト
ヲスル必要ガアルダラウト思フ、併シ
是ハ國家ノ力ヲ以テ強制スルトカ、或
ハ國家ガ金ヲ出シテ與レルトカ云フ意
味デハナイ、是ハ矢張此法案ニ示ス通
リノ意味デ、勤儉貯蓄ノ美風ヲ一方ニ
獎勵シテ、サウシテ茲ニ健全ナル國民
ノ中産階級以下ニ基礎ヲ造リタイト云
フ考ニ過ギナイノデアリマス、今御話
ノ意味ノ社會事業ト云フ事、此社會事
業ノ一部ニ過ギナイカラ、之ヲ保險事
業ノ全體ヲ概括セヨト云フコトハ、少
シ無理ナ註文ト私ハ斯ウ聽キマシタ、
併シ御意見ノヤウナコトニ自然氣運ガ
到來スルコトガアルカモ知レヌ、是ハ
他ノ事デ御話シタ方ガ宜イカモ知レヌ
ガ、社會事業ダトカ、人口問題ヲドウ
ルカト云フヤウナコトヲ能ク質問ガ起
ル、吾々門外デアアルガ、私共緊張シテ
議論ヲ聽イテ居ルガ、ドウスレバ宜
イ、質問セラレル方ノ方デ、斯ウ云フ案
デ何故シナイカト云フ案ガ出ルカト云
フト、中々出ナイ、中々是モ至難ナ事デ
アルト思フ、社會事業ト云ヒ、人口問題
ノ解決ト云ヒ、其解決ト云フ事ハ、中
固ツタ事デ、實ニ困難ナ問題デ、ドウ云
フ名案ガアルカト云フト、有體ニ言ヘバ

各派ヲ通ジテ私ハアルマイト思フ、社
會事業ト云フコトモ非常ニ今日ニ痛切
ナル問題デアアルガ、是ダケデ社會問題
ニ解決セヨト云フヤウナコトハ出來ナ
イ、有ラユルモノヲ綜合シテ、茲ニ始メ
テ社會問題ガ解決セラレルト、斯ウ云
フ事ニシナケレバナラヌト思フ、サウ
シテ此年金ノ方モ昨年私ガ申上ゲタヤ
ウニ、消極的ニ見積ツタカラ、將來ハ非
常ニ剩餘金ヲ生ズルダラウト思フ、若
シサウ云フコトニソレガ旨ク行キマシ
タナラバ、其時ハ俱ニ與ニ實ニ喜ブベ
キ事デアアルカラ、其處迄行クヤウニ今
考慮シテ居リマスガ、幸ニ純剩餘金ガ
有リ餘ルヤウニナルコトガ來タラ、是
ハ全ク國家社會ノ爲ニ喜ブベキ事デア
ルト考ヘル、其時ニハ剩餘金ヲドウス
ルカト云フト、是ハ全ク想像デ、具體的
ノ事トカ云フコトハ、又其時ニ處シテ
料率ヲ下ゲル事モアラウシ、又色々ナ
方法ガアルダラウト思フガ、此處デ其
時——將來ノ事ヲ想像シテ具體的ニ話
ハシナイデモ宜シカラウト思ヒマス

○若宮委員 既ニ長時間ヲ費シタ後
デ、此席ニ於テ私逕信大臣ト未來記ノ
爭ヲ致ス必要モアリマスマイシ、貴方
ト私ト多少意見ノ差モアルヤウニ思ヒ
マスガ、ソレヲ強ヒテ爭ハウト云フ考
モノイノデアリマスガ、私ノ申上ゲタ
事ヲ逕信大臣ハ十分御納得ガ行ッテ居
ラヌヤウニ思ヒマスカラ、ソレダケ一
言申添ヘテ置キマス、大臣ハ私ノ申シ
タ事ヲ、此年金ニ社會事業——社會政
策ト云フコトノ多キヲ負ハシテ居ル、
餘リ之ニ付テ求ムル所ガデアルト云
フヤウナコトデアリマシタガ、私ノ申
上ゲタ意味ハサウデハナイ、是ガ唯一
ノ社會政策ダト思ウテ居ル譯デアアリ
マス、私ノ言フ意味ハ、現ニ貴方ノ部
下ニ御聽キニナレバ、部下ガ調ベテ居
ラレルト思フ、ト云フノハ此年金ハ政
府モ損モセズ、年金團體モ損ヲセズ、ト
シ——ニ行クト云フ從來ノ式デヤッテ
居ラレルノデアリマスガ、世ノ中ハ段
段變テ行クカラ、極メテ近キ將來ニ、
強制年金、強制保險ト云フ時代ガ來ハ
セヌカ、其時代ニハ重複シタモノニナ
ル、其事ヲ御考ニナッテ居リマスカ否ヤ
ト云フノデアリマス、ソレガ貴方ニ徹
底シテ居ラヌ、是ハ部下ニ御聽キ下サ
レバ明瞭スルコトト信ジマス、次ニ伺
ヒタイノハ剩餘金ノ事、是ハ先日大臣
ハオキデガナカッタガ、私ト政府委員ノ
問答ヲ速記ヲ御覽ニナレバ能ク御分リ
ニナルト思ヒマスカラ、是以上ハ申上
ゲマセヌ、止メテ置キマス、次ニ御伺シ
タイノハ、此年金ノ積立金運用ニ付テ
ハ、簡易保險ト略同様ノ運用ノ仕方ヲ
ナサルヤウニ承リマシタ、出來ルゲケ
社會政策ノ方面ニ供シヤウト云フ御考
ノアルコトハ、今井田局長ノ答辯ニ依
テ見エルヤウデアリマスガ、此運用委

員ト云フモノノ組織ニ付テ、多少御考
慮ヲ要スル時代トナッテ居リハセヌカ、
私ハ先日簡易保險法ノ改正法律案ノ委
員會ニ於テ、其事ヲ或ル程度迄申上ゲ
テ置イタノデアリマス、實際ノ社會政
策ト云フコトニ誤リノナイヤウニ、運
用委員會ノ組織ニ付テ少シ御考慮ニ
ナッテハドウカト考ヘル節ガアルノデ
ス、此事ハ率直ニ申上ゲテ置キマスガ、
餘リ亂雜ニナルト、將來累ヲ貽スコト
ニナルカモ知レマセヌ、當局ニ於テハ
只今御考慮ニナッテ居ルトハ存ジテ居
リマスケレドモ、其組織ニ付テ尙ホ一
段ノ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、是
ハ御即答ヲ得ルコトハムヅカシイカモ
知レマセヌガ……

○安達國務大臣 最後ノ御問ハ、最モ
大切ナルコトデ、私御答シテ置キマス、
御承知ノ通り逕信省ノ簡易保險ノ運用
ガ、大藏省預金部ノ是迄ノ遣方ハ御承
知ノ通りデアリマシテ、大分國民ノ非
難ヲ受ケテ居ル、色々ナ事ニ貸付ケタ、
今度ノ整理ニモ吾々其尻拭ヲシナケレ
バナラヌヤウナコトニナッテ居ル、是ハ
畢竟スルニ、預金部ノ預金ノ運用ガ宜
シキヲ得ナイト云フコトカラ起ッテ居
ル、ソレデ大藏省ノ方ニ於テモ運用委
員會ヲ作りマシタ、私ハ就任シテ始メ
テ簡易保險運用委員會ノ開カレタ時、
又其前ニ當ッテモ、此事ニ付テ考ヘタノ
デアリマスガ、私ハ民間ニ居ッテ考ヘタ

ヨリモウマク行ッテ居ル、停滯缺損が無
イ、是ハ喜ブベキ事デアル、此現狀ノ未
來永久ニ維持シテ、運用ニ於テハ何等
疾シキコトガナイ、缺點ガナイヤウニ
シナケレバナラス、之ニ就テ今若宮君
カラ御話ガアリマシタガ、私之ニ付テ
感ズルノハ、是ハヤカマシク窮窟ニシ
テ置キタイ、サウシナイト、假ニ茲ニエ
ライ政治家ガアッテ、妙ナ考カラ運用ニ
付テ偏頗ナ事デモサレタラ、大變ナ累
ヲ貽スコトニナルカラ、成ベク慎重ニ
シナケレバナラス、成ベクヤカマシク
シテ行キタイ、斯ウ云フ希望ヲ持ッテ居
リマス、其事ヲ私ハ運用委員會デモ言
ヒマシタ、運用委員ノ方モ大體之ニ同
意サレマシタガ、之ヲドウスルカト云
フコトハ、此所デ私ノ案ヲ申上ゲルマ
デニ運ンデ居リマセヌガ、兎ニ角運用
委員ト云フモノニ付テハ、今日以上ニ
尙ホ一層良クシテ行キタイ、鄭重ニシ
テ行キタイト考ヘテ居リマス、是ハ御
尋ト一致スル積リデアリマス

○若宮委員 不幸ニシテ私ノ御尋申上
ゲタ意味ト、折角遞信大臣ノ御答下サッ
タ意味トハ、聊カ喰違ガアルヤウニ思
ヒマス、現在マデノ運用委員會ガ確實
ナモノデアアル、非違ガナイト云フコト
ニ付テ、失禮ナガラ、又及バズナガ
ラ、私責任ノ一部ヲ帶ビマス、其積リデ
私共モヤッタノデス、唯私共ガ茲デ御注
意ヲ喚起シテ置キタイト云フノハ、是
ガ間違ガナイ、損ヲ掛ケヌト云フコト

ハ、私モ責任ヲ持チ、御保證申上ゲマス
ガ、同時ニ政府ノ考ヘテ居ラレル運用
ト云フコトガ、社會政策ノ意義ヲ徹底
セシムル上ニ付テ、不十分ナル點ガア
ルコトヲ私共發見シテ居ルノデス、是
ハ先日モ簡易保險改正法律案ノ委員會
ニ於テ或ル程度ノ字句ノ修正モ致シマ
シタガ、希望決議ヲ附シタル所以モ此
ニ在ル此點ヲ能ク考慮セラレテ、社會
政策ニ此積立金ヲ運用スルコトニ付
テ、具體的ニ言ヘバ、漁村ナリ、農村ナ
リ、地方町村ノ實情ノ能ク分ルヤウナ
組立ヲ御考ノ中ニ御入レニナル必要ガ
アリハセヌカト云フコトガ御尋ノ趣旨
ナノデアリマス

○安達國務大臣 其邊ハ十分考ヘマ
ス、是ガ中ニムヅカシイ、此間ノ質問、
アナ方ノ同僚ノ方カラ質問ガアッタガ
或ル村カラ要求シテモ容レラレナカッ
タトカ云フコト、併シソレハ貴方モ御
承知ノ通り鄭重ニシテ、公平ニ取扱ッ
テ居ルカラ、ソレデア、云フヤウニ、限リ
アル金ニ限リナキ要求ト云フト語弊ガ
アリマスガ、大變ナ多クノ求メニ應ジ
ナケレバナラスト、ドウシテモ總テノ
モノニ満足ヲ與ヘルコトガ出來マセヌ
カラ、ソレデ貴方ハ缺陷ガアルト御話
ニナルケレドモ、ソレハ局部カラ見た
ナラバ、其所ニ金ガ思フヤウニ廻ラナ
カッタナラバ、其所ノ人ハ必ズ不平ヲ言
フ、ソコデ局部ヲ見テ簡易保險ノ金ノ
運用ガ行ハレナイト云フコトハ言ハレ

ナイ、餘程ムヅカシイ、貴方ニ說法スル
必要ハアリマセヌケレドモ、其所ハ能
クア、云フヤウナ議論ハ貴方ノ仲間ニ
分ルヤウニ、豫テ御注意ヲ願ッテ置キマ
ス、其點ヲ考ヘズニ、自分ノ縣ニハ廻ラ
ナイトカ、自分ノ郡ニハ來ナイトカ云
フ、今度ノモ大部分ノ人ハ或ハ不満足ニ
思フカモ知レナイ、ソレハ保險局デ公
平ニ考ヘテ、全國ニ割當ノ歩合モ考ヘ、
ソレカラ擔保品ニ付テモ大ニ考慮スル
ト云フヤウニ、總テ各方面ノ及第點ノ
多イモノカラ採用シテ行キマスカラ、
漏ラサレタト云ッテ小言ヲ云ヒ、ソレガ
爲ニ公平ヲ缺クト云フヤウナコトヲ言
ハレルコトハ、是ハ少シ的ヲ外レテ居
ラヌカト考ヘマス、其所ヲ能ク御諒承
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○若宮委員 斯クマデ申上ゲレバ、凡
ソ私ノ御尋スル趣旨ハ御諒解ガアラウ
ト思ヒマスガ、ドウモ私ト大臣トノ間
ニ御尋スルコトト御答ニナルコトニ差
ガアリマス、私ハ之ヲ露骨ニ申上ゲレ
バ能ク御分リニナラウト思ヒマスガ、
事人事ニ關シマスルガ故ニ、前回ノ委
員會ニ於キマシテモ、又本會議ニ於テ
モ私ハ慎ンデ居マシタカラ、今日モ此
程度デ止メマス、能ク御考慮ヲ願ヒマ
ス

○作間委員長 ソレデハ只今ノ所、別
ニ御質問ノ御通告ガナイヤウデアリマ
ス、ソレデ……

○青木委員 マダ質問ガ外ノ人カラ出

テ居ルト云フコトデゴザイマスカラ、
別ニ言ヒマセヌデシタガ所得税ノ……
○作間委員長 ソレハ後デ申上ゲマ
ス、留保致シマス、ソレデ斯ウ云フ御諮
リヲ致シタイノデアリマス、先刻佐藤
君竝ニ青木君カラ、郵便年金ノ掛金及
年金ニ付テ所得稅負擔ノ關係ハドウナ
ルカト云フ御質問ガ出マシテ、其點ノ
答辯ヲ求ムル爲ニ大藏省ノ所得稅擔任
ノ政府委員ノ出席ヲ要求シテアリマ
ス、ケレドモ只今マデハ御出席ガ間ニ
合ヒマセヌ、就テハ此點ニ關スル質問
ノミヲ留保シテ、之ヲ次回ニ此御質問
ニ限ッテ許スコトト致シ、其他ニ付テハ
本日ヲ以テ質問ヲ終局スルコトニ御異
議アリマセヌカ

「異議ナシ」賛成ト呼フ者ア
リ

○青木委員 今ノ所得稅ノ關係ノ答辯
ニ付テ大體質問ハ留保シマスガ、マダ
未熟ノ吾々ニハ條文字句等ニ付テモ其
場合ニ伺フコトガ出來ヌカモ知レマセ
ヌガ、嚴格ノ意味デナクシテ、一口位ハ
出來ルヤウニ留保シテ戴キタイト思ヒ
マス

○作間委員長 只今申上ゲマシタ範圍
ノ質問、及緊急已ムヲ得ザル質問ニ限ッ
テ次回ニ於テ許スコトト致シ、一應質
問ハ本日ヲ以テ終局スルコトニ御異議
ハアリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○作間委員長 デハ左様ニ決シテ、質

問ハ之ヲ以テ一應終局ト致シマス、次
同ハ明日午後開キマスルガ、時間ハ速
記ノ都合ニ依テ只今申上ゲルコトハ出
來マセヌカラ、追テ公報ヲ以テ申上ゲ、
尙ホ別ニ私ヨリ非公式ニ御通知ヲ申上
ゲルコトニ致シマス、本日ハ是ニテ散
會ヲ致シマス

午後四時五十五分散會

大正十五年三月八日印刷

大正十五年三月九日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社